

平成15年10月

淀川水系流域委員会 芦田委員長様

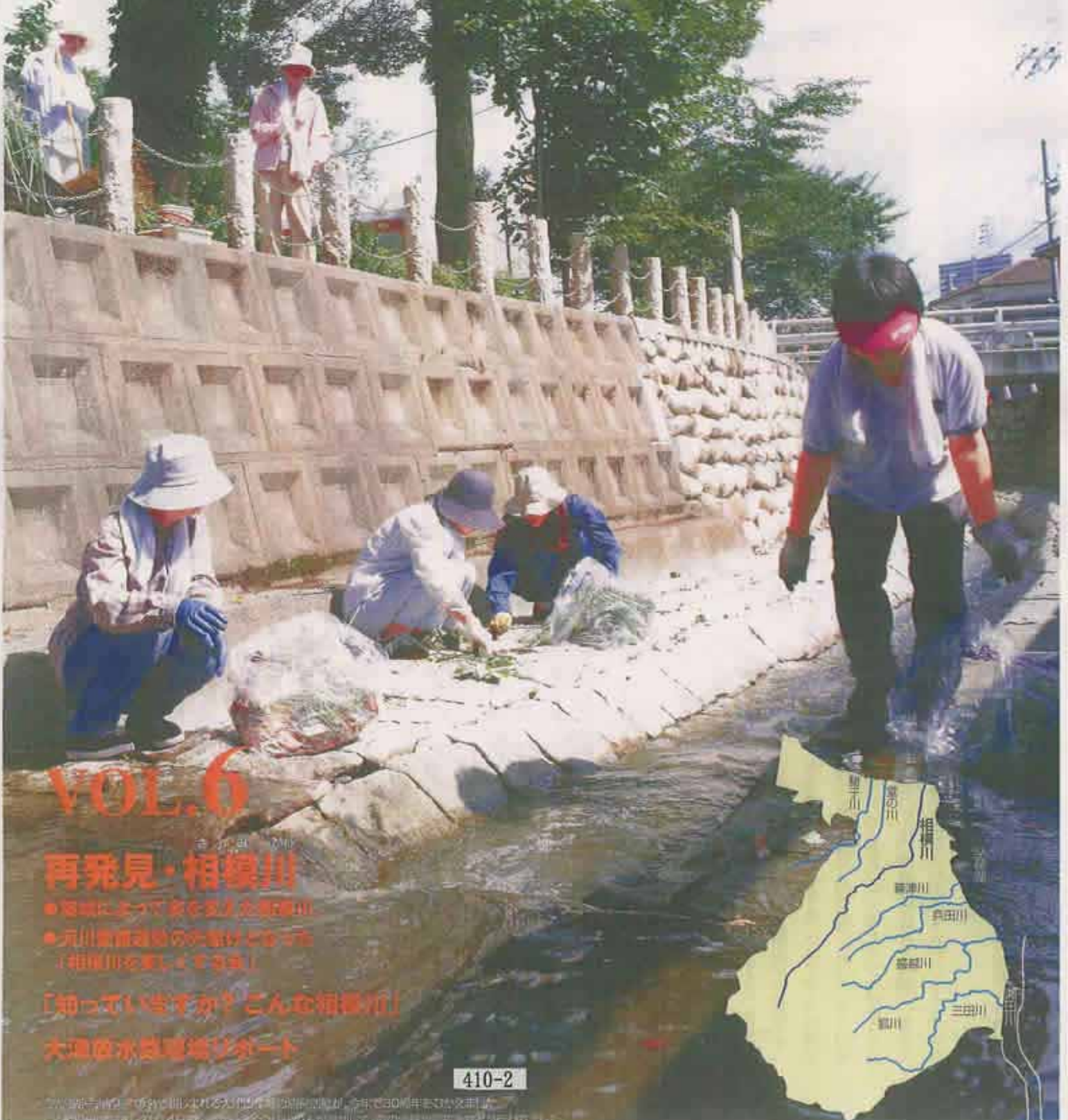
大津放水路促進協議会

9月29日に提出いたしました「大津放水路二期区間（5河川）の
継続実施に係る要望書」に関する、これまでの浸水氾濫状況資料を
追加提出いたしますので、大津放水路の必要性等に対しまして、
貴流域委員会において、ご検討されたくよろしく願いいたします。

かたこ三



とーた君



VOL.6

再発見・相模川

- 昭和によって変えた大津川
- 元川敷浦遺跡の先駆けとなった「相模川を美しくする会」

「知っているですか?」そんな相模川!

大津放水路環境地景レポート



この冊子は、大津放水路促進協議会が主催する「大津放水路環境地景レポート」の第6号として発行されています。発行所は大津放水路促進協議会事務局、〒511-8501 大津市大津1-1-1 大津放水路促進協議会事務局。お問い合わせは、大津放水路促進協議会事務局、TEL: 042-422-1111。ホームページは、http://www.tsuji.org/。発行日: 2014年10月。発行部数: 1,000部。印刷: 株式会社印刷工房。

暮らしに身近な川こそ、 大きな洪水被害につながります。

これまでに三田川は、幾度も洪水を引き起こし、地域に大きな被害をもたらしてきました。その原因としては三田川が急流河川であり、大雨が降ると水が一気に流れることが上げられます。また、急激な宅地開発ももうひとつの要因と考えられます。本来、山や森林は雨水をいったん蓄え、徐々に放出する能力を持っていますが、住宅地の造成によってこのような保水効果が減少し、雨水が短時間の間に河川に流れ込むこととなります。さらに、



このほかにも琵琶湖の水位が高い場合には、水が下流に流れにくいなど、さまざまな要素が重なり合い、洪水は起こります。

台風の中豪雨による三田川の洪水
昭和57年8月

■大津放水路 周辺地域の主な洪水概要

日	付	総雨量	浸水面積	家屋浸水	気象原因
昭和28年	9月24日～25日	274mm	43ha	1244戸	台風13号
昭和44年	8月1日～2日	192mm	38ha	62戸	前線
昭和47年	9月16日～17日	184mm	38ha	898戸	台風20号
昭和57年	7月31日～8月2日	172mm	18ha	423戸	台風10号
昭和62年	7月14日～21日	300mm	15ha	361戸	梅雨前線
平成元年	9月6日～10日	158mm	15ha	345戸	秋雨前線

兵田川



三田川



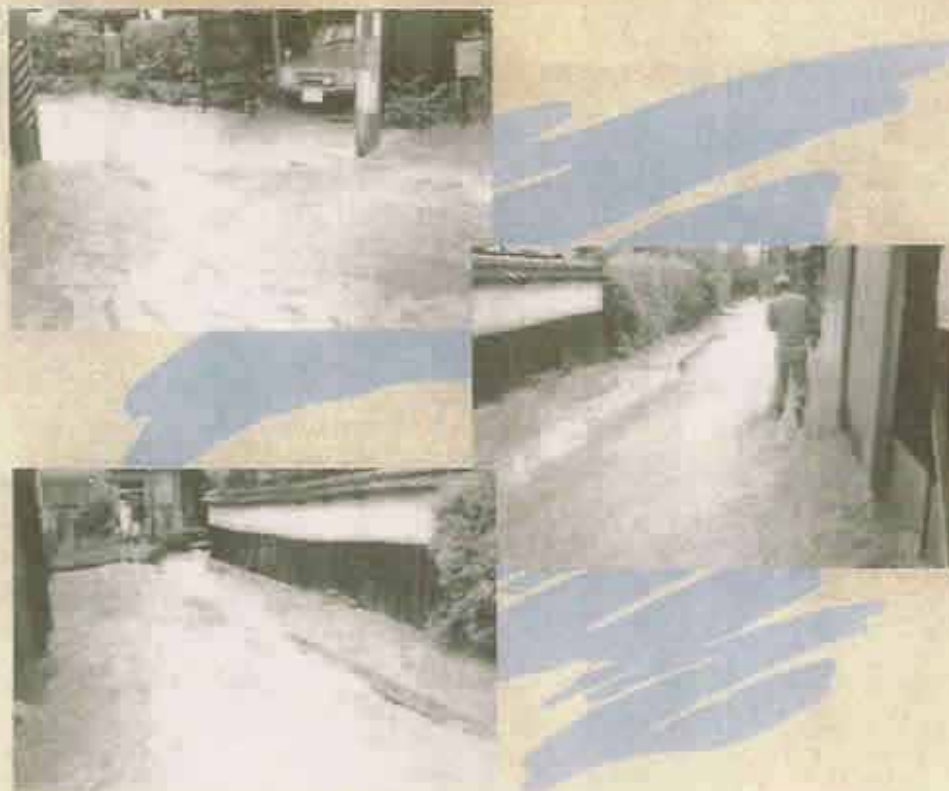
知っていますか?こんな兵田川

あっという間に
こんな恐い川にも“へんしん”するんやて!

戦後、上流が開発されて丘や雑木林が消え、田畑が宅地に変わった頃から大雨の度に氾濫を繰り返すようになりました。とくに宮町のあたりは、毎回、被害を受けました。しかも、一気水に近いような増水でしたから、つねに警戒し、日頃から土のうを川の脇に用意していました。河川改修により、川底を段々にし、浚渫して上流からの水を一旦、溜めるようにしてからは被害は出ていませんが、記録的な大雨が続くようなことがあったら不安ですね。

原田 重雄さん(別保在住)

●杉浦町付近での洪水



盛越川



知っていますか?こんな相模川

昭和55年7月24日に湖国全域を襲った豪雨で、滋賀県各地で大きな被害を出しました。各地で70ミリ以上も降った雨で大津、草津両市を中心に中小河川が平常の約70パーセント増水。相模川や草津市の伯母川をはじめ、計82河川の護岸が水流に洗われて決壊し、その被害は約6億円以上にのぼると7月25日付け読売新聞滋賀版は伝えています。相模川のように普段は水量の少ない河川でも、ひとたび大雨が降ると様相が一変し、人々の暮らしを脅かす川となるのです。



読売新聞滋賀版(S55.7.25)▶



▲昭和55年9月7日の水害のようす
堂の川馬場北町・東町境界（梶田明義さん撮影）

◀ 平常時の堂の川



知っていますか?こんな諸子川

「かわコミ7号」にもご登場いただいた奥はるゑさんのお宅では、昭和40年代まで諸子川流域に田地を所有し、米作りを続けていらっしゃいました。しかし山手の宅地開発が進むと出水が起き、たびたび被害を受けるようになりました。

「国道1号より上の田んぼは、段々畑のような形でしたから、川の水があふれると低い土地にある田はほとんど浸水してしまいました。水をかぶるだけなら被害はさほどでもありませんが、山から押し流されてきた土砂が流入し、手のつけられないような状況になったことも幾度かあったと記憶しています」。



知っていますか?こんな相模川

昭和55年7月24日に湖国全域を襲った豪雨で、滋賀県各地で大きな被害を出しました。各地で70ミリ以上も降った雨で大津、草津両市を中心に中小河川が平常の約70パーセント増水。相模川や草津市の伯母川をはじめ、計82河川の護岸が水流に洗われて決壊し、その被害は約6億円以上にのぼると7月25日付け読売新聞滋賀版は伝えています。相模川のように普段は水量の少ない河川でも、ひとたび大雨が降ると様相が一変し、人々の暮らしを脅かす川となるのです。

読売新聞滋賀版(S55.7.25)▶



知っていますか?こんな篠津川

昔から篠津川は、農業用水の水路としての役割が大きい川でした。かつては30町歩(ちょうぶ)ほどあった田んぼに必要な水を三ツ池に溜め、篠津川はそこから流れていました。しかし、近年は田んぼが少なくなり、ひとたび豪雨になると水の行き場がなく、山や池の水が一気に流れ出すこととなります。しかも、川幅は狭く、琵琶湖までの距離も短い。かつては洪水を引き起こすような川ではありませんでしたが、宅地化が進み、田畑がなくなった今日では、出水に備えなければならない川だと思います。

高田 忠明さん

(膳所南部の川を美しくする会・副会長)



② 主要な洪水被害 (昭和41年から平成10年まで)

大津放水路事業に係る洪水被害は次の通りである。

年 月 日	災 害 名	河川名	被害箇所数	観測降雨量 (mm)
昭和41年7月1～2日	大 雨	相模川	—	142
昭和43年7月2日	大 雨	盛越川	—	179
昭和43年8月17～18日	台風7号	三田川	—	139
昭和53年6月22～23日	停滞前線 豪 雨	三田川 盛越川 相模川 兵田川	1 4 2 9	122
昭和55年7月23～24日	前線豪雨	三田川 盛越川 兵田川	3 1 2	120
昭和57年8月1～2日	台風10号	三田川 盛越川 相模川	8 4 4	172
昭和58年6月20～21日	大 雨	三田川 兵田川	2 1	167
昭和59年6月26～27日	梅雨前線 大 雨	兵田川	2	82
昭和60年6月21～ 7月19日	台風16号と 梅雨前線 豪 雨	三田川 盛越川 相模川	2 1 1	422
昭和61年6月16～ 7月23日	梅雨前線 豪 雨	三田川 盛越川 相模川	2 2 1	107
昭和62年7月14～21日	梅雨前線 豪 雨	三田川 盛越川	1 3	300

年 月 日	災 害 名	河川名	箇所数	被害額 (千円)
昭和63年6月2～3日	梅雨前線豪雨	盛越川	1	1,443
	梅雨前線豪雨	相模川	1	3,451
平成元年9月2～7日	秋雨前線豪雨	三田川	2	5,981
	秋雨前線豪雨	盛越川	2	7,328
平成7年5月11～15日	大雨	三田川	1	3,428
平成8年8月27～9月1日	豪雨	相模川	1	4,811

出展：滋賀県災害誌 昭和54年、平成2年、平成12年 滋賀県